

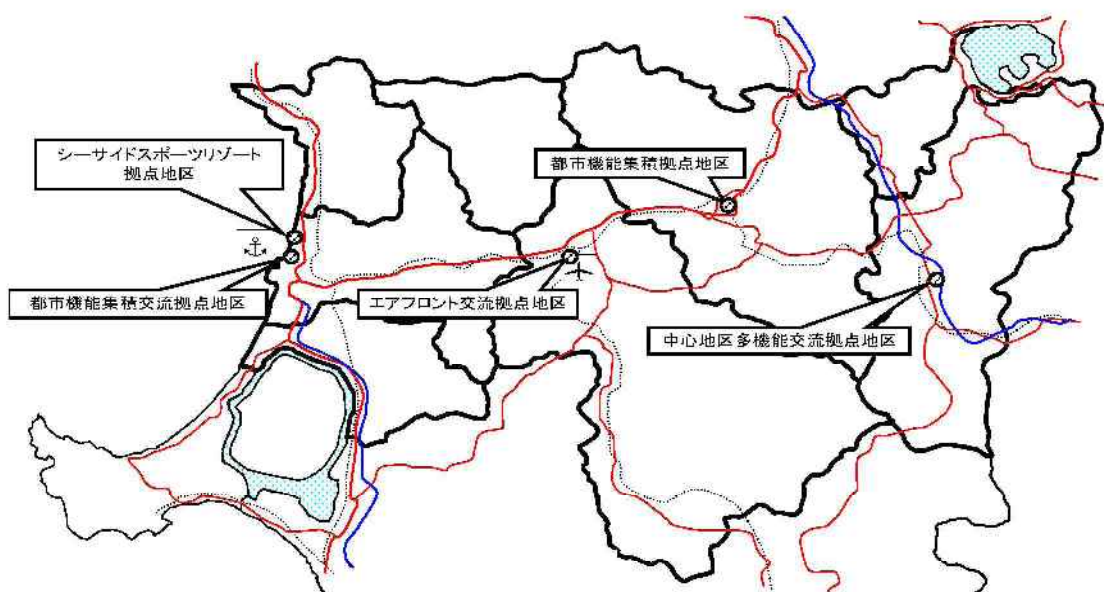
第2章 拠点地区の区域及び当該地区ごとに実施すべき事業に関する事項

2. 1 拠点地区の設定

当地域全体の振興を図るため、大館市、能代市、鹿角市、北秋田市の4市の市街地等を核とし、それらを相互に連携し地域強化を目指すとともに、産業の集積をはじめ各種の都市機能の集積を促進し、秋田市をはじめ青森県及び岩手県との連携を高め、北東北の交流拠点地域としての構築を目指す。

このため、既存集積との関連、周辺地区とのアクセス、秋田県及び構成市町の構想及び計画を考慮し、効率的、効果的な整備が可能な次の5地区を拠点地区に選定した。

1. 都市機能集積拠点地区（大館駅周辺地区）…………… 71.4ha
2. 都市機能集積交流拠点地区（能代市畠町地区）…………… 63.0ha
3. シーサイドスポーツリゾート拠点地区
（能代市落合、河畔公園地区）…………… 83.0ha
4. 中心地区多機能交流拠点地区（花輪駅前地区）…………… 62.3ha
5. エアフロント交流拠点地区（北秋田市脇神地区）…………… 13.0ha



2. 2 拠点地区の性格

拠点地区においては、適切な土地利用と良好な景観形成への配慮を基本に、高次の都市機能と地方定住の核となるべき居住環境の整備を、総合的かつ計画的に実施することとする。

また、拠点地区における都市機能の整備によって、周辺部での産業、商業流通や観光・リゾートなどの各機能の整備を促進し、圏域の一体的な振興に資するものとする。

2. 3 当該地方拠点地区の整備方針と重点事業

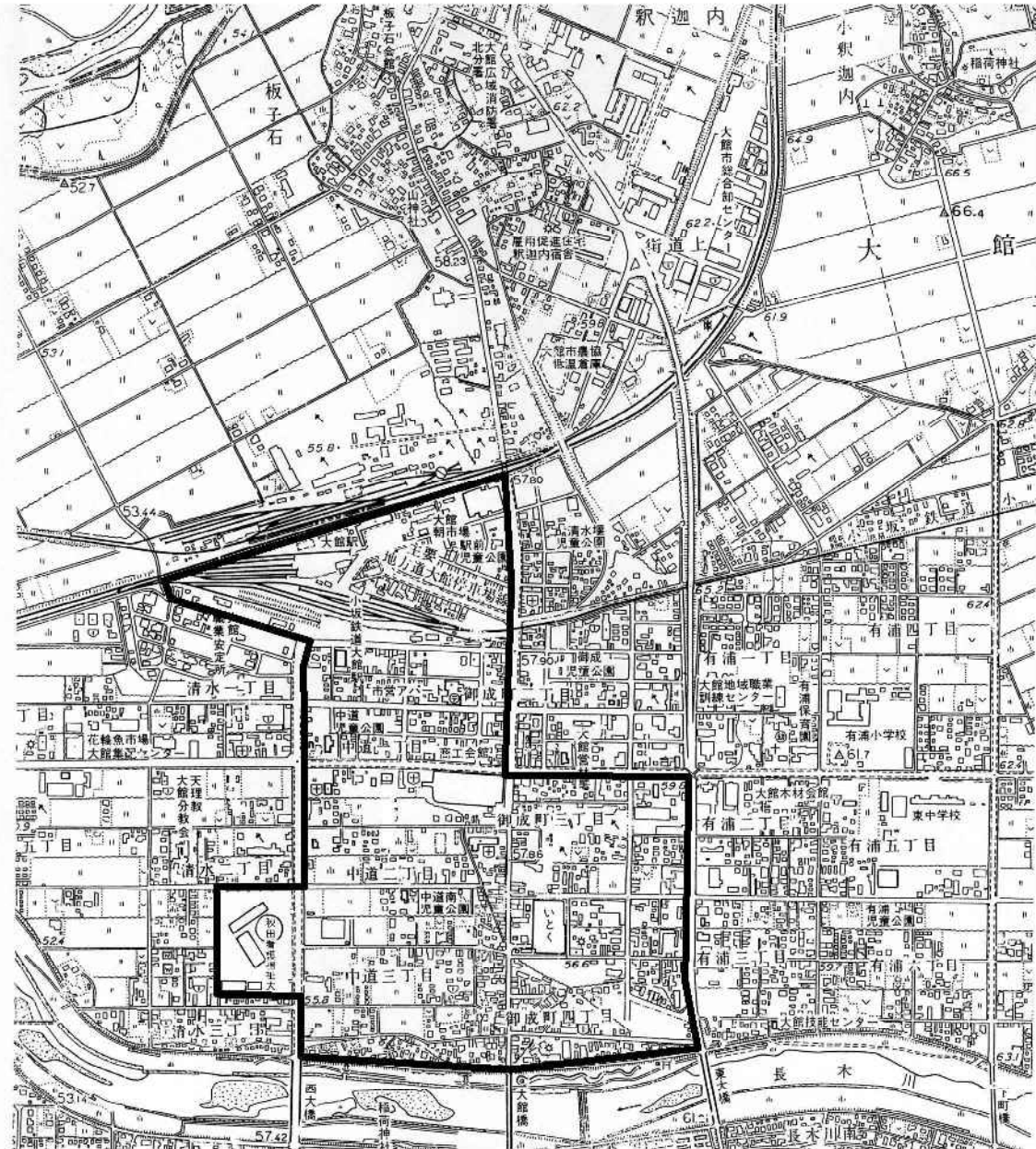
(1) 都市機能集積拠点地区

1) 区域

① 区域 大館駅南・御成町南地区

② 面積 71.4 ha

③ 区域図



2) 拠点地区の現況

本地区は、鉄道ではJR奥羽本線や花輪線、道路では国道7号・主要地方道大館十和田湖線のほか、日本海沿岸東北自動車道の整備にともなうアクセス道の整備により、交通の利便性に恵まれている。一方、交通体系の変化にともなう各種都市施設の郊外立地などにより、中心地域の都市機能の低下が顕著になってきている。

このようなことから、道路網・下水道等の整備による住環境の整備、看護福祉大学による人材の育成、企業誘致の促進等により、教育文化、産業支援、定住環境、交流環境の充実を図り、若者の定住を促進する必要がある。

3) 整備の方針と重点事業

本地区は、国道7号と主要地方道大館十和田湖線が拠点都市地域内を縦横断していることに加え、日本海沿岸東北自動車道等の整備により、北東北の交通上の中心地区となっている。また、地区南側に地区南側に隣接する長木川がもたらす豊かな水と緑は、快適な都市空間を創り出してきた。

この有利な条件を生かしながら、企業の誘致・集積、圏域内外との交流の活発化、中心市街地の魅力ある形成を目指す。

このため、産業支援のための基盤整備や交通の要衝としての利便性をさらに向上させることによって、物流拠点としての都市機能を総合的に高めるとともに、ゆとりと潤いのある快適な居住環境を形成するため、御成町南地区上地区画整理事業及び大館駅周辺等の整備により、美しいまち並みと商業機能の複合的整備を図り、都市としてのにぎわいを創出する。

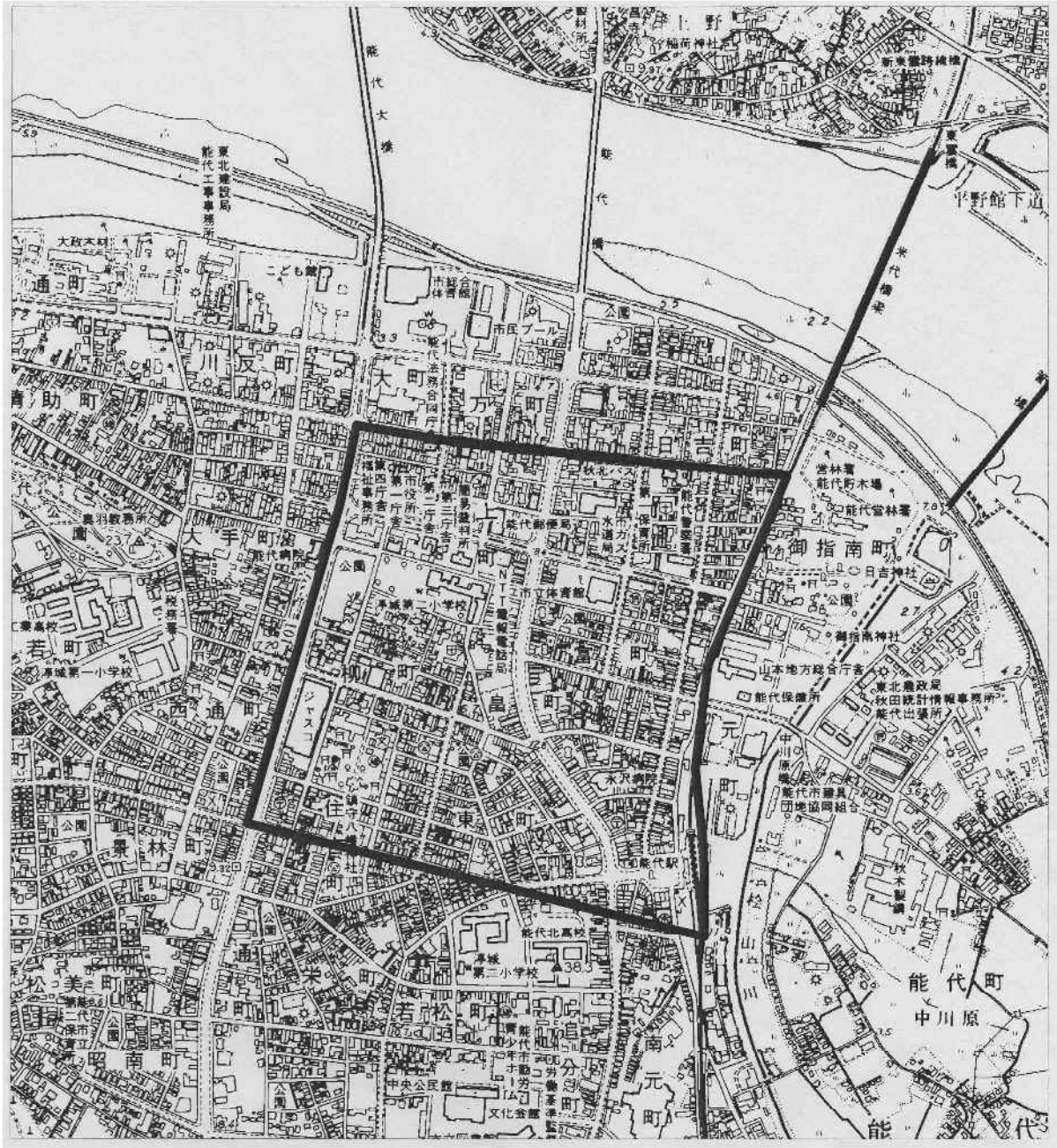
重点的に整備される産業業務施設や教養文化施設などの概要

概ねの位置	種 類	活用の方針
大館市御成町	御成町南地区上地区画整理事業	住環境の整備 幹線道路網等の整備

(2) 都市機能集積交流拠点地区

1) 区域

- ① 区域 能代駅前、畠町等
- ② 面積 63 ha
- ③ 区域図



2) 拠点地区の現況

本地区は、圏域を縦断する米代川河口に近接した、能代市のほぼ中央に位置する地区であり、畠町、柳町など複数の商店街が形成されているほか、官公庁、教育施設、体育施設などの行政の中核施設が集積している。

地区内には、若者から高齢者まで快適に居住できる住宅と保育所、デイサービスセンター等を合築した複合施設「能代ふれあいプラザ」が整備されており、世代間の交流拠点としての機能を果たしている。

3) 整備の方針と重点事業

中心市街地に人の流れを呼び込むため、地区内の商店街再生につながる支援等を強化し、魅力ある商店街を形成するとともに、若者や高齢者にとっても暮らしやすい住環境の基盤整備を進め、定住人口の増加を図る。

併せて、都市中心部の既存の公共施設・用地を有効に活用するとともに、官公庁、教育施設、体育施設などの公共施設が集積する、行政エリアとしての機能を維持する。

また、このまちづくりを進める際には、「木都」や「バスケットの街」としての地域特性をアピールしながら、多様な人々のにぎわい、幅広い交流を創出する。

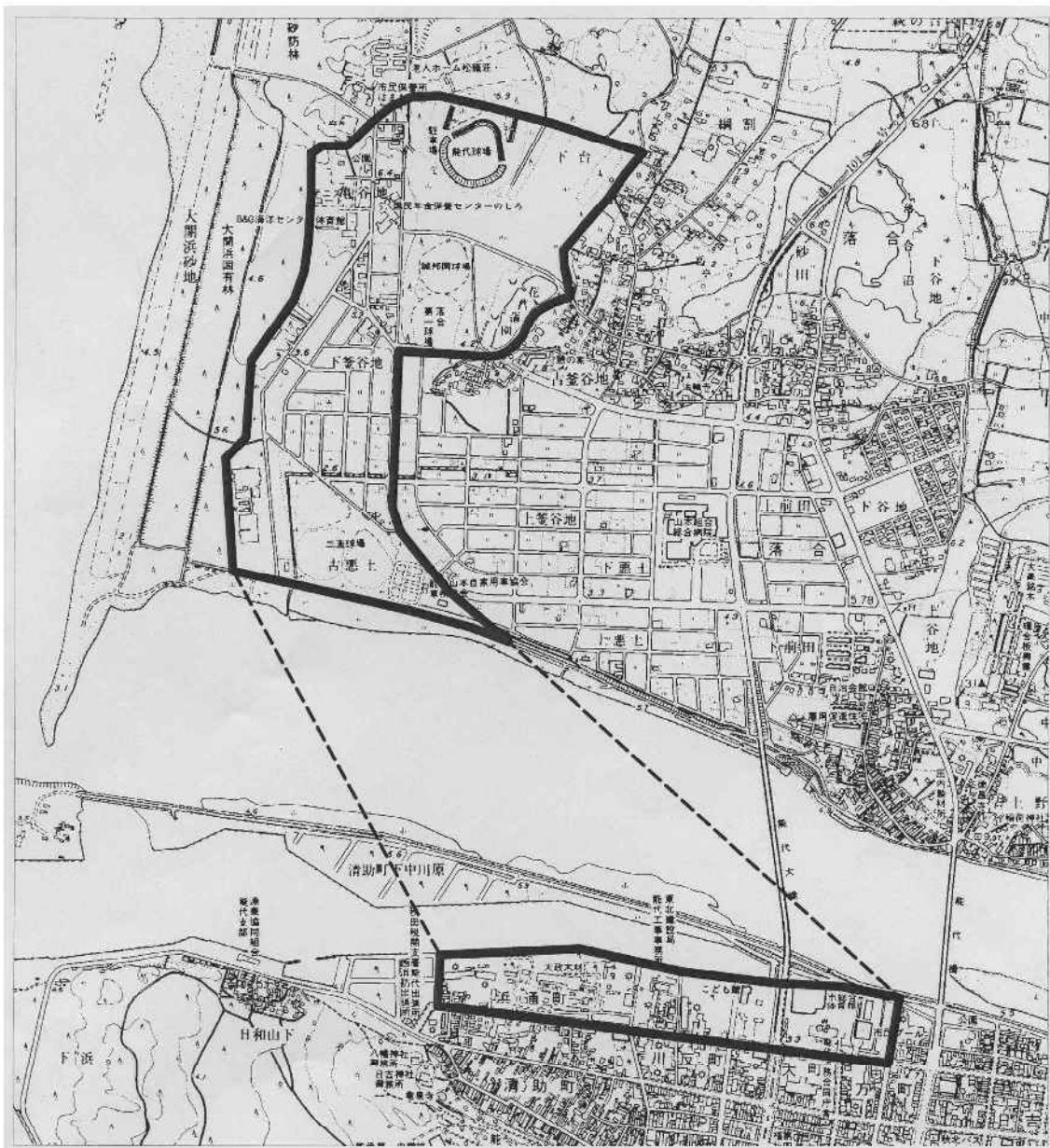
重点的に整備される住宅及び住宅地

概ねの位置	種 類	活用の方針
能代市住吉町	市営住吉町住宅 ・社会福祉施設を併設	150戸 ¹ 定住人口の増加を図り、地区内のにぎわい創出につなげる。

(3) シーサイドスポーツリゾート拠点地区

1) 区域

- ① 区域 能代市落合地区、河畔公園地区
- ② 面積 83 ha
- ③ 区域図



2) 拠点地区の現況

本地区は、米代川河口に沿った能代市の落合及び河畔公園地区から成り、ウォーターレクリエーションエリアとして利用されている米代川河口水面を含んでいる。

落合地区には能代山本スポーツリゾートセンターのほか、野球場やテニスコート等のスポーツレクリエーション施設、また、温泉を活用した保養・宿泊施設があり、河畔公園内に整備された総合体育館、市民プール等とともに、ゆとりとやすらぎを与える空間の中で一体的な整備が図られている。

今後、市民の健康意識の向上等に対応し、流域全体の活性化と交流人口の増加を図るため、その機能を一層充実する。

3) 整備の方針と重点事業

地区のスポーツリゾート機能を一層充実させるため、総合運動公園や河畔公園等の整備を進め、圏域内における幅広いスポーツリゾート交流と観光機能を兼ね備えた拠点形成を図る。

また、能代山本スポーツリゾートセンター、能代球場、総合体育館等のほか、日本海や米代川などの自然のフィールドを含めて、スポーツ活動の拠点となる既存施設等を有効に活用するとともに、それぞれの有機的な結びつきを強化しながら、幅広くスポーツを体験・観戦できる環境の整備を図り、交流人口の拡大につなげる。

特に、バスケットボールについては、全国レベルの大会の開催や国際的な試合を誘致するとともに、競技人口の底辺拡大を図るなど、「バスケットの街」にふさわしい取り組みを推進する。

重点的に整備される産業業務施設や教養文化施設などの概要

概ねの位置	種類	活用の方針
能代市落合字古悪十	公園	多様な市民スポーツへの対応を図りながら、休養地・行楽地として来訪者へ安らぎを与える。
能代市 浜通町 川反町 外	公園	総合体育館や市民プールなどの既存施設の有効活用を図りながら、休養地・行楽地として来訪者へ安らぎを与える。